





INDEX

2-6 : Faces of Mini

8 : Cooper

10 : Mayfair

12 : Safety & Performance

14 : Utility & Equipment

16 : Dressing up

The Most Emotive Car

(imóutiv) (形容詞) ●感情的な ●感情をあらわす ●感情を起こさせる



ミニの新しいシンボル。全モデルに共通の NEW「ウイングMINI」バッジ。

MINIの調子の良さを、「元気」という言葉で表現する人がいます。調子がいい、ではなく、元気。まるでMINIはクルマではなく、大切なパートナーだと言わんばかりです。確かにMINIは、1959年に誕生して以来、絶えず、可愛い、温かい、といった多くの形容詞を携えて世界中で愛されてきました。それは、「変えようがないデザイン」と評される、愛らしいスタイルによるところも大きいでしょう。そのデザインを生んだ、横置きエンジンやFF方式といった数々の革新技術など、「自動車工学の奇跡」を手にするという、満足や誇りもあるでしょう。また、MINIの天才設計者、サー・アレック・イシゴニスへの畏敬や、英国のオーセンティックな文化に負うところも大きいかもしれません。しかし、もしMINIの魅力がそれだけなら、生誕40年を迎える今なおパートナーとして認められることはないでしょう。エンジンの電子制御化や、ディスク

ブレーキ、エアバッグ、シートベルトブリテンショナー等の採用による大きな安心感。そして英國高級車ゆづりの豊かで心地よいインテリア等々…。「人とクルマとの絆」を考え続けた伝統や経験が生み出す、心に響く信頼感と満足感。だからこそMINIは、いまもなお、善きパートナーとして温かく迎えられているのですね。永く付き合うなら、MINI。まさに、パートナーにふさわしい、心を許せるクルマです。**相棒を一台。MINI**



Alec Issigonis (1906–1988)
—Engineer, Designer, and Artist—

Faces of Mini①

“一緒に走る”。

“ミニはまるで生き物のようだ”とは、よく言われるところです。確かに、ステアリングをちょっと切れば、ゴーカートのようにキビキビ曲がり、微妙なアクセルワークにも敏感に応える。ハイテクに頼らずともドライバーの意志に忠実なところが、そんなふうに感じさせるのでしょうか。事実ミニに乗っていると、人とクルマの鼓動が重なり合い、ちょうど馬に乗っている時のような、文字通り人馬一体となって自分がクルマを操っている歓びを実感できます。クルマに人が操られるのではなく、人がクルマを操る。ハイテクが奪った、この「クルマを操る愉しみ」こそミニの魅力といえるのです。ミニが生き物のように形容されるのも、ミニが単なる移動手段の領域を超えて、ハイテクだけでは得られない何か、人の能力が介在できる部分を大切に守り続けているからなのですね。



(写真は英国仕様車)



(写真は英国仕様車)

MinipassionMini.com

Faces of Mini®

“もうひとりの自分”

クルマはステータスシンボルという考えは、ミニには

当てはまりません。また、クラスやグレードによって

優越感を得るといった考えも、ミニには通用しません。

自分のクルマが、本当に好きだから乗っているという満足感。

クルマが「自分らしさ」を反映してくれるという、充実感。

そして、そのクルマに替わるものがない、という

オーセンティックな資質による信頼感。この、人とクルマが

愛着やこだわりで深く結ばれ、共に暮らし、生活し、

愛するという感覚こそ、ミニが40年近くをかけて培ってきた

人とクルマの理想のあり方なのです。そのクルマに乗るのが

本当に好きで。好きだから愛情がかけられて。愛情をかけるから、

またまた好きになって。気がついたら10年、20年と乗っていた。

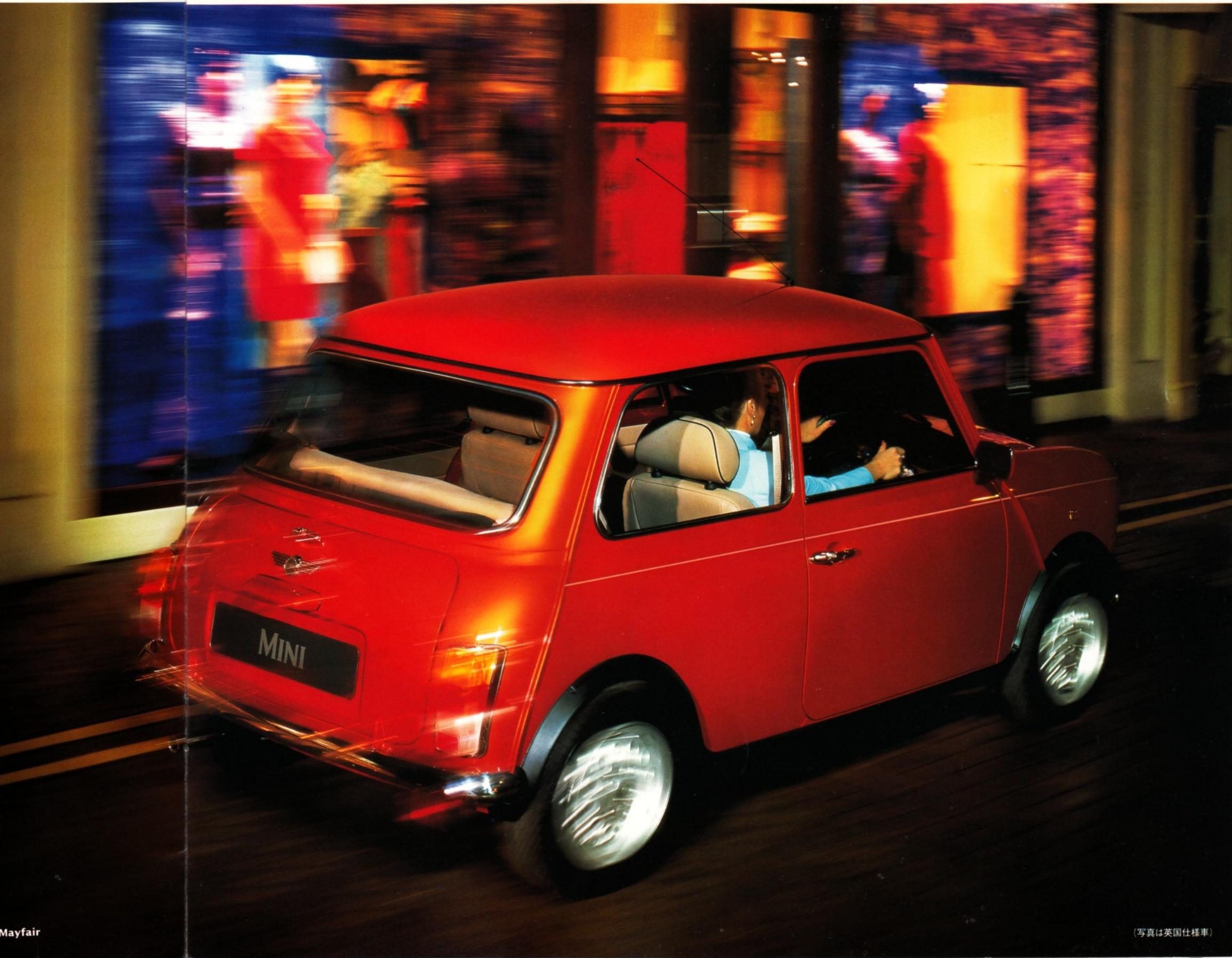
ミニに乗る歓び。そう。それは、人を愛する喜びに似ている。



Faces of Mini^③

“永遠のスタイリッシュ”

若いカップルが、ミニをポップに仕立ててファッショナブルな街並みをのんびりと走っている。かと思うと、年季の入ったミニ・マニアがオールド・ミニをピカピカに磨きあげて、下町をキビキビと走りまわっていたりする。そして、それぞれが違和感なく溶け込み、街の風景の一部と化してしまう。まるでミニは、どんな場所でも似合って当たり前、といわんばかりです。確かに、「変えようがないカタチ」と賞賛されるユニークなスタイリングは、色あせることなく輝き続ける永遠のスタイリッシュ・アイテムといえるでしょう。そしてこのオーセンティックな資質こそ、ミニがあらゆる場所に同化できるパフォーマンスの源になっているのです。大胆なのに、エレガント。クラシカルなのに、コンテンポラリー。ミニは、誰が乗っても、どんなファッションでも、どんな場所でも、その類いまれな才能を惜しみなく発揮します。



走る。曲がる。止まる。そのすべてに、感動を秘めている。
アグレッシブなスポーツマインドに今、クオリティを加えて。
ミニ・クーパー



全身にみなぎる、アグレッシブなスポーツスピリット。これこそミニ・クーパー
ならではの傑出した魅力といえるでしょう。モンテカルロラリー
3度優勝をはじめ、レースシーンでも大活躍するなど、世界のモーター



スポーツフィールドを席巻した小さな巨人、ミニ・クーパー。その栄光と
チャレンジスピリットが、一大リファインを受けて甦りました。クーパー伝統の
ホワイトルーフに加え、ボンネットには2本の太いホワイトストライプが。
そしてラリーカーを彷彿させるフォグランプとスポーティな8本スポークの
アルミホイールが、クーパー伝統のアグレッシブな走りを引き立てます。

そしてクラシック・クーパーを彷彿させる、スバルタンなブラック&ベージュの
2トーンで統一したインテリア。そしてシートには着座感のクオリティを極めた

上質な本革張りを採用。一方、フェイシア全面と、ドア、後部席の
サイドモールには、美しい天然のウォールナット(クルミ材)パネルを配しました。

また、クラシカルな3連ホワイトメーターと、上質な本革巻きの2トーン・スポーツ
ステアリングホイール、さらにはスポーツタイプのアクセルペダルも装備。

とくにマニュアル仕様車はシフトレバーも本革にするなど、操作時の質感にも
深くこだわりました。まさにクラシック・クーパーをも凌駕する、
オーセンティック感あふれる仕上がり。クーパーファン垂涎の一一台です。



クーパーのアイデンティティを主張する、
リアクォーターの誇らしげなエンブレム。



実戦のレースカーも採用する、滑りにくい
穿孔仕上げのアクセルペダル。



ブラックカラーで統一された
本革シートにも、栄光の紋章を刻印。



足元をスポーティに引き立てるアルミ
ホイールは、クーパー伝統の8本スポーク。

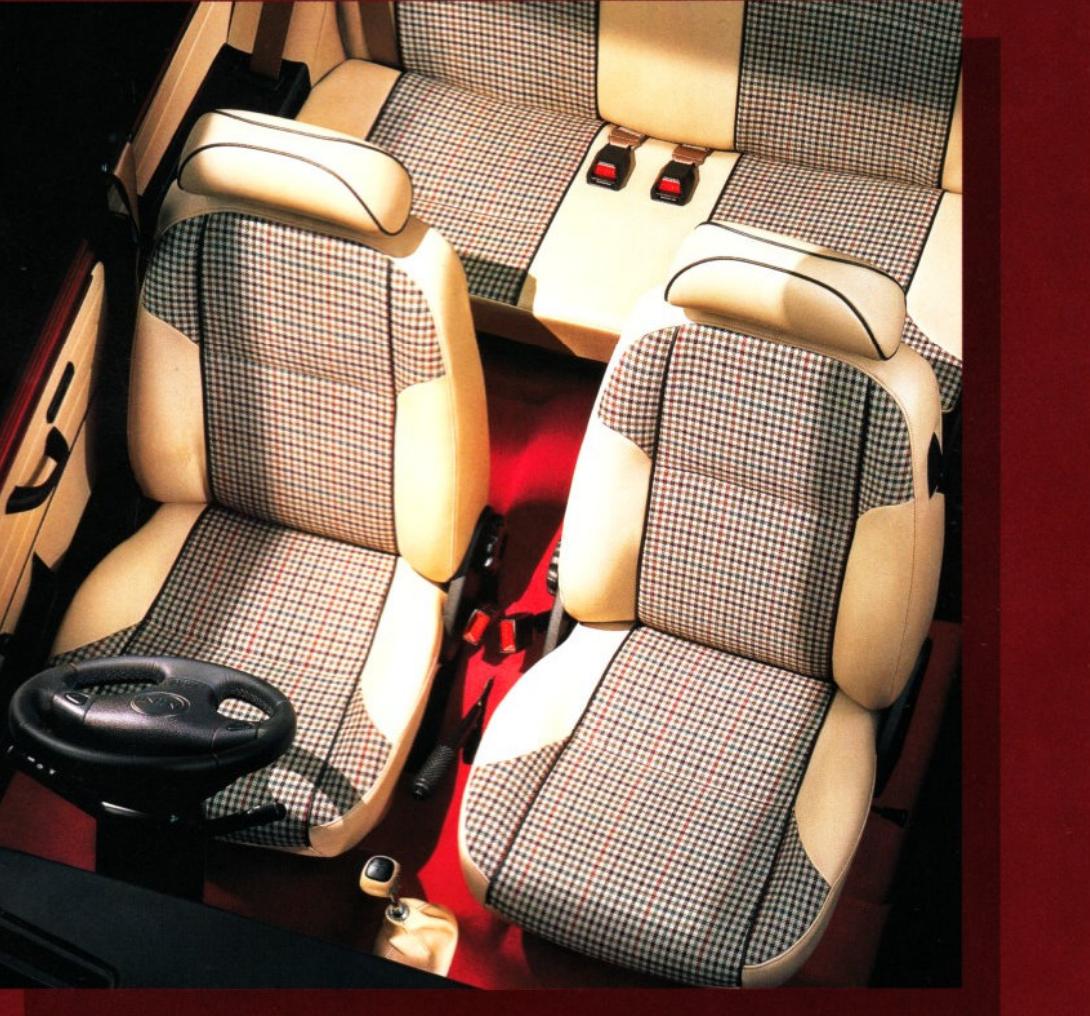


MINI

(写真はヘリテイジカラー車)

MinipassionMini.com

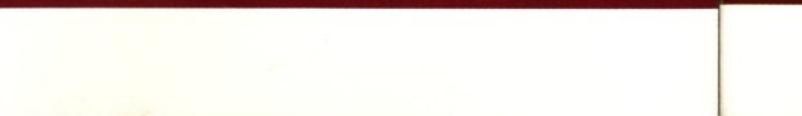
大人の高感度な感性に応える、シック&モダン。
上質を基準に磨きあげた、ハイ・スタンダードモデル。
ミニ・メイフェア



上質を愛し、豊かな感性をもつ洗練された大人のためのスタンダードモデル、
ミニ・メイフェア。スタンダードモデルと呼ぶにはあまりにも贅沢な一台です。
優雅な英国紳士淑女が、今なお生活の拠点とするロンドンの歴史ある
住宅地区、メイフェア。ミニ・メイフェアは、このメイフェア地区の伝統的な
オーセンティック・イメージをモチーフに、ミニのスタンダードモデルとして
デザインされました。エクステリアは、美しいクロームメッキの
ラジエーターグリルとバンパーを配した気品ある仕上がり。クロームメッキの
豊かな光沢が、ニューデザインのアルミホイール、クラシックアイテムの

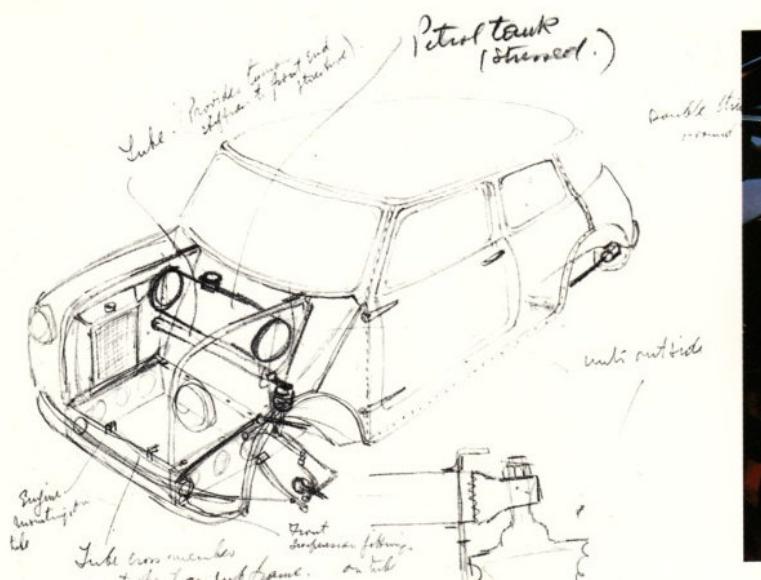


ホワイト・ウインカーレンズと併せて、モダンな中にも味わいのある
クラシカルなイメージを醸し出しています。なかでもインテリアは洗練された
もので、フェイアシア全面に美しいウォールナットパネルを配した贅沢な
仕上げ。肌触りも快いベージュのチェック・クロス地の大型シートや、外装色と
カラーマッチングしたフロアカーペットが一体となって、まさに
シック&モダン。落ち着きと安らぎの漂う、まさに上質を愛する大人のための
インテリアです。また、本革巻きステアリングホイールに加え、代替フロン対応
のエアコンディショナーやオーディオシステムも標準装備。上質さと実用性に
加え、快適性といった現代のミニならではの機能性も併せ備えました。



Mayfair





開発時のアイデアスケッチ(イシゴニス画)

1,271ccインジェクション・エンジン

**ミニのファンな走りに、ゆとりを。
さらに安全に快適にと、ミニ史に残る
一大リファインを遂げた、新しいミニの誕生です。**



新しいミニは、さらなる安心とゆとりまで備えました。

38年もの間、世界の自動車ファンを魅了し続けてきた、ミニ。その人の秘密はなんといっても、走らせることが愉しくて仕方がないと評される、“ファン・トゥ・ドライブ”な走りの魅力にあるでしょう。その源となっているのが、コーナーを直角に曲がると形容されるハンドリングを生む、伝統のラバーコーン・サスペンション。そして、“まるで生き物のような”と称される、快いレスポンスをもたらすエンジン。しかし、ミニが今なお愛されるのは、もちろんそうした伝統によるものだけでは



濃霧時の追突防止にも対処。
リア・フォグ・ランプ。



全モデルに運転席SRSエアバッグを標準装備。
ドライバーに大きな安心感をもたらします。



ワイパーは間欠モードを新たに加え、天候に合わせて良好な視界が確保できます。
ステアリングコラム右側に機能的に配置。



スマート／ヘッドライトの切り替えスイッチはレバー式とし、ステアリングコラム左側に。
操作性が大きく向上。



全モデルの前席シートには、先進の安全技術、
シートベルト・プリテンショナーを標準装備。
リアシートベルトは3点式のELRタイプ。



横方向からの衝突に備え、ドア内部には堅牢なサイドインパクト・ドアビームを装備。

機能的なユーティリティ。そして、高質な標準装備の数々。ここまで快適になった、新しいミニを見てください。

"A地点からB地点まで容易に移動でき、

到着したら速やかに駐車できる

クルマであること”。これこそ、

ミニの開発時に託された

クルマの理想でした。だからでしょうか、

ミニは現代のモータリゼーションにも

実によくフィットします。全長わずか

3,075mm。全幅1,440mm。

その小さなボディサイズは、街中を

キビキビと駆け抜けられ、駐車スペースも

ミニマムサイズです。ドアを開けるスペースも

70cmがあればOK。それに「ミニ・マジック」と

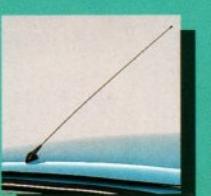
称賛される豊富な収納スペースも、

実用車として誕生したミニならでは。

しかも、現代のクルマらしく、

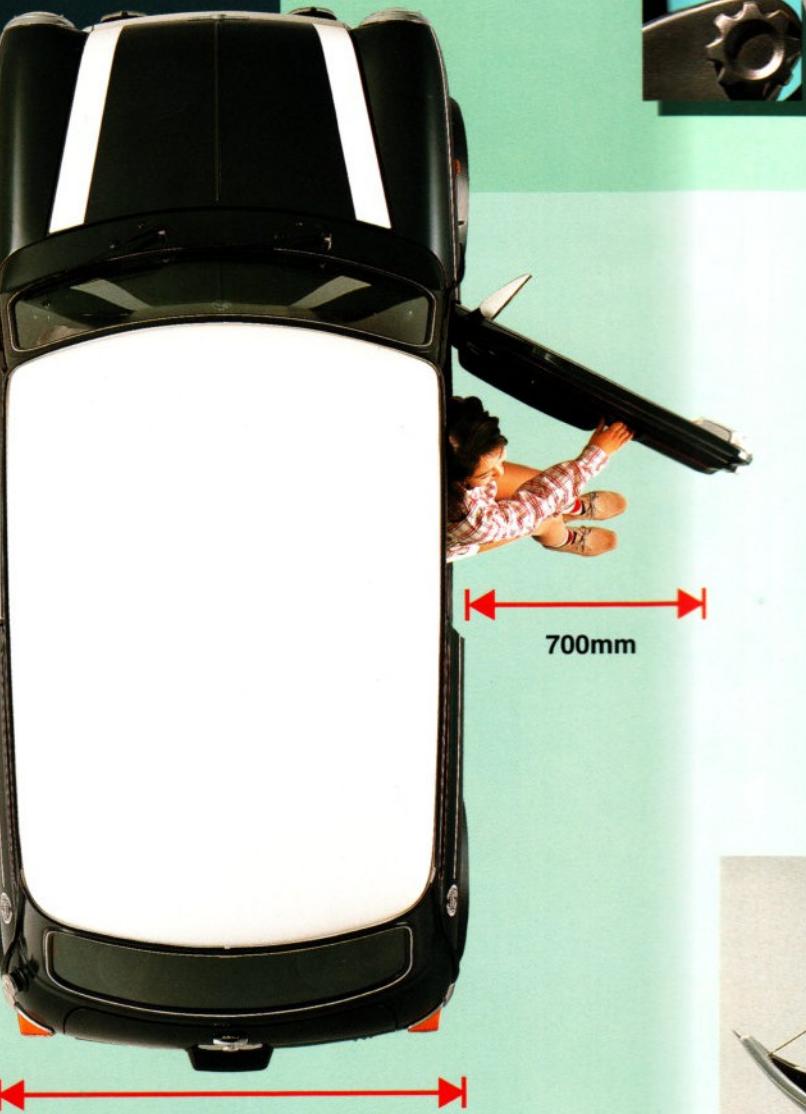
細部の使い勝手が

ますます洗練され快適になりました。



アンテナはルーフ中央に。
かつての英国車の
クラシカル・デザインモチーフを
採り入れました。
(角度変更可能)

3,075mm



フロントシートは快適な
無段階リクライニング機構付き。
側面のダイヤルで微調整も簡単です。

スペアタイヤは、リアのトランクに。
その上、ボストンバッグや
バスケットなどが2~3個は収納できます。



シートフレームから完全新設計した、
ひと回りゆとりあるサイズ。
サポート感と座り心地も格別で、安全性も向上。



後席ゲストの乗り降りを容易にする工夫。
前席シートはレバーにより大きく倒せるようになり、
なおかつ座面脇のレバーでシート全体を前方に
持ち上げることも可能です。



アクセサリーの「モンテカルロ・ルーフキャリア」を
取り付ければ、スタイリッシュに大荷物も。

Manual shift lever

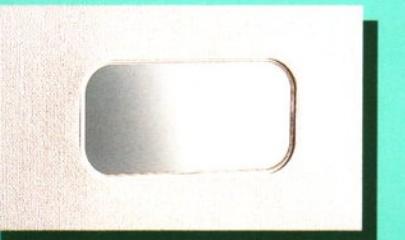


Automatic shift lever



マニュアル・トランスミッションは、キ
ビキビした走行感覚も嬉しい4速。
シフト操作も小気味よくきます。
しかも、手にしつくりとなじむシフトレ
バーは、感触も格別の上質な本革
巻き。標準装備のシフトブーツと併
せて、走りの気分を盛り上げます。

4速のオートマチック・トランスミッ
ションは、パーキングポジション付き。
しかも夜間時に操作ミスのないラ
イトアップ付き。1速~4速と並んだ
ゲート式のシフト配置により、その
気になればマニュアル感覚のスボ
ーティな走りも愉しめます。



助手席サンバイザー裏には、バニティミラーを装備。
ミニは大切なゲストを、
きめ細かな配慮で温かくエスコートします。



フェイシアの全面ウォールナットに加え、ドアサイドに
配した美しい大振りのウォールナットパネルが、さらなる
ラグジュアリー感を演出します。(クーパー／ケンジントン)



大人2人が無理なく座れる後席。
ワットトリム(徐く、メイフェア)やELR3点式ベルトも
加えてゲストを温かく包み込みます。
しかも座席下にも大きな荷物スペースが。



リアサイドポケット同様、フロントの両ドアサイドにも
大きなサイドポケットを配しました。大型の地図や雑誌などが
数冊収納できとても便利です。



扱いやすい各スイッチ類。左から、リヤ・フォグランプ。
ブレーキ液低レベル警告灯及びテスト、
ハザードランプ、後面ガラス曇り取り、
下段は改良されたヒーター調整コントロール。



様々な小物が収納できるダブルボックスは、
全面美しく磨き込まれたウォールナット張り。
しかも裏側までにウォールナットを配し、
扉を開ければ豪華なミニテーブルに。





(アクセサリー装着車)

オーセンティックから、アヴァンギャルドまで。
「カンバス」としての懐の深さ。



美しい、クロームの
サイドミラー、
ホイールアーチ。

それは、あなたの個性がつくる、もうひとつのミニ。
かの名優、ピーター・セラーズがミニのボディに小枝模様をペイントして以来、誰もがミニを趣味でドレスアップをするようになりました。つまり、オーナーになってからも、ドレスアップパーツで自分だけの1台に仕上げていくのがミニ伝統の愉しみ、というわけです。たとえば、小枝模様よりは少し大胆な、ルーフの“チェック・フラッグ”。普通ならアッと驚くドレスアップも、ミニは大歓迎です。“クルマをデザインする唯一の方法は、すべてを自分で決めることだ”、と先人も言っています。豊かな個性と鋭い感性で、自分だけのオリジナルな1台が仕上がるはずです。



クーパー伝統の
ストライプも、
こうすればがらっと
イメージが変わる。

新生ミニを印象づける
スタイリッシュなアルミホイール、
その名も“レボリューション”。

深く豊かな光沢を放つ、
斬新なデザインの
クロム製ドアミラー。

カラード・レザーによる、
2トーン・ステアリング。

スポーティでスバルタンな
イメージを演出する、
アルミ合金製のインナーグリップ類。

カーボーのロゴ入り
イヤヤ・ハーブキャップで、
思いきりカーボーにこだわってみる。



端正なイメージをつくる、
美しいホワイトカラーの
アルミホイール。



足もとを精悍に引き立てる
チャコールカラーの
アルミホイール。



格調あるインテリアに
仕上がるウッド製の
レギュレーター・ハンドル。



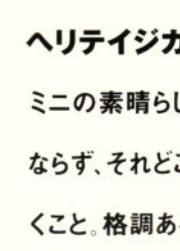
ヘリテイジカラーと
コーディネートできるシフトノブ。
カラード本革巻き。



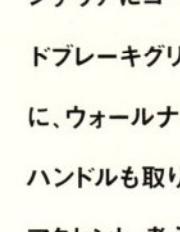
スポーツマインドの極み、
アルミ削り出しの
メタル・ポリッシュド・ギアノブ。



格調あるインテリアに
仕上がるウッド製の
レギュレーター・ハンドル。



ヘリテイジカラーと
コーディネートできるシフトノブ。
カラード本革巻き。



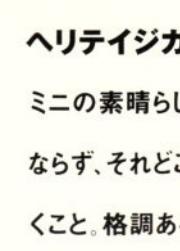
スポーツマインドの極み、
アルミ削り出しの
メタル・ポリッシュド・ギアノブ。



大胆なデカール類に
レトロ(さざ波型)グリル&レトロバンパーの
取り合わせも意外とクール。



ヘリテイジカラーと
コーディネートできるシフトノブ。
カラード本革巻き。



格調あるエクステリアカラー&インテリアカラーをもつ、ヘリテイジカラー・モデルともなれば、なおさらでしょう。ヘリテイジカラーのインテリアにコーディネートできるステアリングに替え、シフトノブやハンドブレーキグリップもヘリテイジカラータイプのもので合わせる。さらに、ウォルナット・インテリアに合わせて、ウッド製のレギュレーター・ハンドルも取り付ける。そして、エクステリアにはクロームの光りもの

アクセント。考えるだけでワクワクしませんか?

ご存知、英國国旗、
ユニオンジャックによる、
ルーフ・デカール。



PRICES/SPECIFICATIONS/EQUIPMENTS

‘99.3月版

PRICES & SPECIFICATIONS

99年3月現在

モデル名称		ミニ クーパー		ミニ メイフェア		モデル名
		(M/T)	(A/T)	(M/T)	(A/T)	
車両本体価格		¥1,989,000	¥2,099,000	¥1,789,000	¥1,889,000	エクステリア
型式				E-XN12A		
ステアリング				右ハンドル		
寸法	全長(mm)			3,075		
	全幅(mm)			1,440		
	全高(mm)			1,330		
室内寸法	長(mm)			1,640		
	幅(mm)			1,155		
	高(mm)			1,120		
ホイールベース(mm)				2,035		
トレッド	前			1,235		
	後			1,200		
最低地上高(mm)				95		
車両重量(kg)		720	740	720	740	インテリア
乗車定員(名)				4		
エンジン	エンジン型式			12A		
	エンジン種類・シリンダー数			水冷直列4気筒・横置き		
	弁機構			OHV 8バルブ		
	総排気量(cc)			1,271		
	ボア×ストローク(mm)			70.6×81.2		
	圧縮比	10.1	9.4	10.1	9.4	
	燃料供給方式			電子制御燃料噴射装置(TBi) + MEMS		
	使用燃料			無鉛プレミアム		
	燃料タンク容量(ℓ)			34		
	潤滑油容量(ℓ)	4.8	7.3	4.8	7.3	
	点火装置方式			フルトランジスタ式		
	排出ガス浄化装置			O ₂ センサー／三元触媒(モノリス)		
動力性能	最高出力(ps/rpm EEC)	62/5,700	53/5,000	62/5,700	53/5,000	快適装備
	最大トルク(kgm/rpm EEC)	9.6/3,900	9.3/2,600	9.6/3,900	9.3/2,600	安全装備
動力伝達装置	変速機型式	4速マニュアル	4速オートマチック	4速マニュアル	4速オートマチック	
	変速機操作方式			フロア・チェンジ式		
	変速比	1速	3.647	2.690	3.647	2.690
		2速	2.185	1.845	2.185	1.845
		3速	1.425	1.460	1.425	1.460
		4速	1.000	1.000	1.000	1.000
		後退	3.666	2.690	3.666	2.690
	最終減速比		3.210	3.174	3.210	3.174
ステアリング	形式			ラックアンドピニオン		
	外径(mm)			350		
	ロック・トウ・ロック			3.1回転		
サスペンション	懸架方式	前		ウイッシュボーン		
		後		トレーリングアーム		
	ばね形式	(前後)		ラバーコーン		
制動装置	主ブレーキ装置	前		ディスク		
		後		リーディング・トレーリング		
	制動倍力装置			真空倍力式		
	パーキングブレーキ			機械式後2輪		
走行装置	タイヤサイズ(前後)			145／70 SR12		
	ホイールサイズ(前後)			4.5B×12		
燃料消費率10.15モード走行(km/ℓ:運輸省審査値)		14.5	9.7	14.5	9.7	備考 ■車両本 ■フロア ■上記保

U P M E N T S

主要裝備 99年3月現存

	ミニクーパー		ミニメイフェア	
	(M/T)	(A/T)	(M/T)	(A/T)
NEW「ウイング MINI」バッジ	●		●	
「ヘリテイジ」ボディカラー		▲(オプション)		—
クロームメッキ・ラジエーターグリル&バンパー	●		●	
フロント・フォグランプ	●		—	
ホワイトペイント・ルーフ	●		—	
ボンネット・クーパースタイル	●		—	
サイド・ピンストライプ	●		●	
リアクォーター・クーパーエンブレム	●		—	
ボディカラー・ドアミラー	●(ホワイト)		●	
ルーフセンター・アンテナ	●		●	
エクステンション・フェンダーアーチ(ブラック)	●		●	
アルミホイール	●(8本スポーク型)		●(デュアル型)	
ホイール・センター・キャップ	●("COOPER")		●("MINI")	
ブラック・本革シート(クーパー刻印入)	●		—	
ベージュ・クロスシート	—		●	
「ヘリテイジ」カラーコーディネイト本革シート	▲(オプション)		—	
2ウェイ・後席エントリーレバー	●		●	
本革巻きステアリングホイール	●(2トーン※)		●	
本革巻きシフトノブ	●	—	●	—
ウォールナット(クルミ)ウッド・ドア&後席サイドモール	●		—	
ウォールナットウッド・フェイシアパネル	●		●	
丸型3連メーター(クロームリング付)	●(ホワイト地)		●(ブラック地)	
穿孔式スポーツ・アクセルペダル	●		—	
助手席サンバイザーバニティーミラー	●		●	
左右シートバック・ポケット	●		●	
左右ドア&リアサイド・ポケット	●		●	
インダッシュ型カーエアコン(代替フロン対応)	●		●	
FM/AM電子チューナーカセットオーディオ	●		●	
運転席 SRSエアバッグ	●		●	
前席シートベルト・プリテンショナー	●		●	
前後席 ELR3点式シートベルト(ベージュ※)	●		●	
サイドインパクト・ドアビーム	●		●	
間欠モード付ワイパー	●		●	
熱線リアウインドウデフッガー	●		●	
リアフォグ・ガードランプ	●		●	
難燃性インテリア素材	●		●	

*「ヘリテイジカラー」車の場合はブラック部品となります

MinipassionMini.com

- 格には車両輸送費(25,000円)、登録諸費用、消費税、その他税金、保険料は含まれておりません。等の付属品は別売となっております。詳しくは販売店にてお確かめください。
及び主要装備、仕様等は予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。



製造事業者:英國ローバーグループ

Cooper Heritage Collection

ヴィンテージ・ミニを彷彿させる、内外装のヘリテイジカラー。
それは、文化遺産という名の羨望のカラーリング。

確かなパフォーマンスをベースにクラシック・ミニのテイストを加えた、ニューヴィンテージともいえる新型ミニの魅力。ここに紹介するモデルは、ミニのクラシカルテイストを誕生当時のオリジナルカラー（内装色×3種、外装色×2種）によってさらに際立たせた、スペシャルモデルです。ボディカラーは、草原の温もりを感じさせるアーモンド・グリーンと、爽やかなサーフ・ブルーの2色のクラシックカラーに加えて、シックなアンスラサイトの計3色。いずれも往年のクラシック・ミニをしのばせる、味わい深いカラーリングです。しかも、本革シートは形状にこだわるだけでなく、これもまた、伝統の内装色3種とカラーコーディネートなど、ヘリテイジモデルとして傑出した仕上がりとなっています。クーパーにさらなる気品と格調を与え、特別な一台に仕上げる、ヘリテイジカラー。まさにミニの文化遺産ともいえる、価値あるカラーコレクションです。



アーモンド・グリーン
日本では“ヘントウの実”といふんですね



サーフ・ブルー
爽やかな波打ち際のイメージ



アンスラサイト
暖炉の黒炭を思わせる深いブラック・メタリック

BODY COLOURS ボディカラー



オールド・イングリッシュ・ホワイト（メイフェアのみ）



フレーム・レッド/ソーラー・レッド



アンスラサイト



ハワイアン・ブルー（メイフェアのみ）



タヒチ・ブルー



ブリティッシュレーシング・グリーン

TRIM トリム



ブラック・レザー
(クーパー)



ベージュ・クロス
(メイフェア)



カラード・レザー
(ヘリテイジ・コレクション)

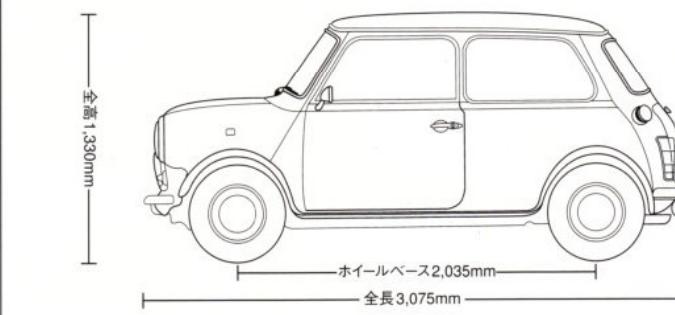
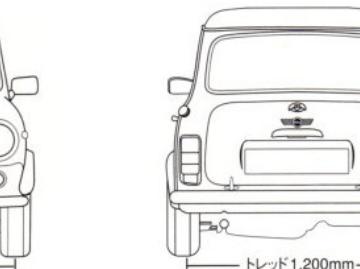
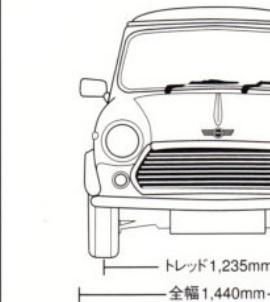
COMBINATIONS

(S)ソリッドカラー	(M)メタリックカラー	(P)パールセントカラー	ミニ クーパー	ミニ メイフェア
レギュラーカラー	オールド・イングリッシュ・ホワイト(S)		—	ベージュ・クロス
	フレーム・レッド/ソーラー・レッド(S)		ブラック・レザー	ベージュ・クロス
プレミアムカラー	アンスラサイト(M)		—	ベージュ・クロス
オプション料金¥35,000	ハワイアン・ブルー(M)		—	ベージュ・クロス
	タヒチ・ブルー(P)		ブラック・レザー	ベージュ・クロス
	ブリティッシュ・レーシング・グリーン(M)		ブラック・レザー	ベージュ・クロス
ヘリテイジ・コレクション	アーモンド・グリーン(S)	ポースリン・グリーン・レザー	—	
オプション料金¥50,000	サーフ・ブルー(S)	ホライゾン・ブルー・レザー	—	
	アンスラサイト(M)	キュミラス・グレイ・レザー	—	

99年3月現在

★クーパーはいずれのカラーの場合もホワイト色のルーフ/ドアミラーとなります。またメイフェアは「アンスラサイト」車の場合、ドアミラーは無塗装となります。

DIMENSIONS 寸法



Rover Group Japan

〒153-8912 東京都目黒区青葉台4-7-1

ローバージャパン正規ディーラー
ローバー中央名東

〒465 名古屋市名東区高針1-1003
TEL. 052-702-6801
FAX. 052-702-6855

(担当)
MinipassionMini.com

●本仕様ならびに、装備は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。●本カタログ内の写真は印刷のため、実際の色と多少異なることがあります。また、日本仕様と一部異なることがあります。

ZM CM525